

あとがき

〈編集顧問〉

太田 保世
諏訪 邦夫
堀江 孝至
村山 正博

〈編集委員〉

相澤 久道
和 泉 徹
小川 聡
永井 良三
平山 篤志
三嶋 理晃

〈編集協力委員〉

赤石 誠
赤柴 恒人
北風 政史
近藤 哲理
中沢 潔
(五十音順)

今月号は「COPDの併存症・合併症」の特集を組んだ。COPDは本誌でも何度か取り上げている、それだけ重要な疾患である。何故重要かと言えば、言い尽くされた感はあるが、有病率・死亡率が高く今後も増加傾向が著しい、社会経済的な負荷が大きい、一方、治療により良くなり死亡率も下がる等々である。この十数年このようなことが強調されてきたにもかかわらず、相変わらず受療率は低いままである。何故か？一般市民・医療関係者ともに関心が低い、息切れなどに対する自覚の低さ、治らないという諦め、等々こちらも多く議論がなされてきた。この他に、皆大きな声では言わないが、自分が好きでタバコを吸って病気になったのだから自業自得じゃないか、という考えもあるのではないか。

しかし、思い出していただきたい。40歳以上(30歳以上?)の人なら記憶があると思うが、「今日も元気だ、煙草がうまい!日本専売公社」、「煙草は〇〇町で買いましょう!〇〇町役場」という看板が至るところにあった。国策として国民に煙草を吸わせていた時代の犠牲者が今のCOPD患者である。

しかし、あきれますね。新聞を読んでいたら、ある政党の書記局長は、健康の問題を税と関連づけるのはよくないとして、「禁煙権と同時に喫煙権もあり、国民的な議論が必要だ」とした。今時こんな知性も教養のかけらもないことを人前で言える人はかなり勇気がありますね。まあ仕方がないか。これは公党としての発言、党の性格を云々するような問題ではありません。彼自身の人間性、資質に帰する問題ですね。

同様なことは、禁煙を推進する側にも言えるから話はややこしくなります。所謂禁煙ファッショと言われ、揚げ足をとられたりするものですね。これが行き過ぎると「自分が好きで病気になった人を何故保険で治療しなければならないんだ」ということにもなります。実際、COPDの話をしたら「何故タバコを吸う人の味方をするのか」と攻撃されたこともありました。何事も行き過ぎは良くありませんね。

私たちは、循環器科医も呼吸器科医もタバコには絶対反対の立場です。タバコが違法となりタバコのない社会の実現を目指しています。しかし、目的は同じでもそれぞれの立場でのやり方があると思います。私たちは医学的な面からタバコの害を理にかなった方法で根気強く繰り返し、禁煙を目指す人達の助けになることが役目だと思います。と、人格者めいたことを言いましたが、今日も食事中隣でタバコを吸い始めた人をひと睨みして、途中で席を立ちました。

(相澤久道)

呼吸と循環 (第58巻 第2号)

2010年2月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)

(2010年、年ぎめ予約購読料 31,800 円
電子ジャーナル閲覧オプション付 41,400 円
(税込み、配送料弊社負担))

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 樋川・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株) 医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCOPY (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。